



平和の壁画

国連本部内にある壁画「永続する平和のための人類のたたかい」。ニューヨークで一時期活躍した画家、ホセ・ペラ・サネット（1913～99）の作品です。（写真）

左から右へ、第2次世界大戦中の強制収容所、爆撃、現代の戦争の苦しみを経て、戦争で荒廃した世界を人類が協力して再建していく物語です。その象徴として国連の標章を描かれていました。

特集 すいよう

米ニューヨークにある国際連合（国連）の本部では5日から、通常総会が始まっています。本部内に入れれば、銃身を結んだ拳銃の彫刻など戦争否定や非暴力を表すモニュメントがあります。本部見学ツアーからも見えてくる国連の役割や目的を改めて紹介します。



●広島と長崎に投下された原爆の熱線で溶けたガラスなどを見学するツアー参加者。左端がガイドのベン・ダニエリさん、⑥国連事務局が入っているビル=13日、ニューヨーク

本部見学ツアーに参加

国連本部の見学ツアーに参加し、最初に訪れたのは国連総会の議場でした。ドミニコ・アントニオ・ガルシア・サンタマリア国連総務総長が座る議場は、正面に総会長や国連事務総務長が座る薄緑色のひだがあり、放射状に各代表が座る席が広がっていました。ドミニコ・アントニオ・ガルシア・サンタマリアはすべての国が対等、平等の一票を有する議論で議論します。こう話すのはドイツ出身のガイ



国連つて何だろう？

「総会決議の拘束力はないものの、世界の多数の声を反映している点で政治的な重みを持つます」と強調しました。壁には、「核兵器は人類の存続自体の脅威だ。全員で絶対は国連の重要な問題」とのケテレス事務総長の言葉がエッジアーリさんが読み上げていました。安全部会開催中の議場近くには、今年で採択から75周年となる世界人権宣言の展示がありました。ダニエリさんは同僚とともに金有休暇を充実する権利などを示しました。ダニエリは「これが何よりも大切な目標を掲げていたと願う。それが子どもたちの権利、それが女性差別撤廃条約などに繋がることを強調しました。

核廃絶や人権尊重促進めざす



平和の実現へ 対等・平等に世界の声を反映



国際連合（国連）は、1945年10月24日に設立。国際平和の維持、国際問題の解決、人権と基本的自由の尊重を促進するための協力、これらを実現するために中心的役割を担うことを目的としています。196カ国中、193カ国が加盟しています。

国連の主な機関は、総会、安全保障理事会（安保理）、経済社会理事会、現在は活動停止中の信託統治理事会、国際司法裁判所、事務総長を最高責任者とする事務局であります。

安保理の決定は法的拘束力を持ちます。しかし、安保理の常任理事国（米英仏中ロ）が問題の当事国である場合に、常任理事国が特権である拒否権行使して決定ができず、十分に機能しないという事象が起きます。

安保理が機能しない事態でも総会で議論し、決議などを採択できます。総会は、全加盟国が参加して国連憲章に従って国際問題について討議。通常総会は国連本部で毎年9月に始まり、基本的な審議は12月までに終わりますが、会期は翌年の9月まで続きます。

「総会決議の拘束力はないものの、世界の多数の声を反映している点で政治的な重みを持つます」と強調しました。

壁には、「核兵器は人類の存続自体の脅威だ。全員で絶対は国連の重要な問題」とのケテレス事務総長の言葉がエッジアーリさんが読み上げていました。

安全部会開催中の議場近くには、今年で採択から75周年となる世界人権宣言の展示がありました。ダニエリさんは同僚とともに金有休暇を充実する権利などを示しました。ダニエリは「これが何よりも大切な目標を掲げていたと願う。それが子どもたちの権利、それが女性差別撤廃条約などに繋がることを強調しました。

→を繰り返しました。

した。気候危機対策や経済

写真も

・リターン（燃費効率を高めるための技術）

西洋効率貿易規制を適用する（発射不能の飛行機）

（第3種郵便物認可）

（14）